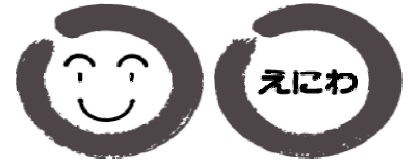


# 令和4年度 決算の概要 恵庭市

令和5年10月発行

I.	各会計歳入歳出決算総括表.....	01
II.	普通会計決算	
	1.歳入決算の概要	
	①款別歳入決算の内訳.....	02
	②款別歳入決算額の内訳(図).....	04
	2.歳出決算の概要	
	①目的別決算額及び財源の内訳.....	05
	②主な性質別経費及び財源の内訳.....	05
	③性質別歳出決算額の内訳.....	06
	④性質別歳出決算額の内訳(図).....	07
III.	健全化判断比率の状況	
	①健全化判断比率の状況.....	08
	②石狩管内他市との比較.....	08
IV.	収入と支出の推移	
	①歳入額の推移.....	09
	②歳出額の推移.....	09
IV-1.	ピックアップ!新型コロナウイルス対策事業.....	10
IV-2.	ピックアップ!ふるさと納税の状況.....	11
V.	地方債現在高と基金の状況	
	①地方債現在高の推移.....	12
	②石狩管内の令和4年度末地方債現在高の状況.....	12
	③石狩管内の令和4年度末基金の状況.....	12
VI.	おわりに	
	①市税の使いみち.....	13
	②おわりに.....	13

## I. 各会計歳入歳出決算総括表



(単位:円・%)

会計区分		令和4年度	令和3年度	比較		
				増減額	増減率	
一般会計	歳入総額	37,395,168,788	37,330,923,479	64,245,309	0.2	
	歳出総額	36,221,524,369	35,688,406,202	533,118,167	1.5	
	歳入歳出差引額	1,173,644,419	1,642,517,277	▲ 468,872,858	▲ 28.5	
特別会計	国民健康保険	歳入総額	6,686,438,880	6,663,460,195	22,978,685	0.3
		歳出総額	6,599,564,385	6,531,508,979	68,055,406	1.0
		歳入歳出差引額	86,874,495	131,951,216	▲ 45,076,721	▲ 34.2
後期高齢者医療	歳入総額	1,101,787,493	1,058,266,853	43,520,640	4.1	
	歳出総額	1,083,103,438	1,039,435,998	43,667,440	4.2	
	歳入歳出差引額	18,684,055	18,830,855	▲ 146,800	▲ 0.8	
介護保険	歳入総額	4,959,189,031	4,798,234,519	160,954,512	3.4	
	歳出総額	4,843,822,954	4,711,643,992	132,178,962	2.8	
	歳入歳出差引額	115,366,077	86,590,527	28,775,550	33.2	
土地区画整理事業	歳入総額	70,131,484	120,942,840	▲ 50,811,356	▲ 42.0	
	歳出総額	70,131,484	120,942,840	▲ 50,811,356	▲ 42.0	
	歳入歳出差引額	0	0	0	-	
土地取得事業	歳入総額	512,997	19,903,274	▲ 19,390,277	▲ 97.4	
	歳出総額	512,997	19,903,274	▲ 19,390,277	▲ 97.4	
	歳入歳出差引額	0	0	0	-	
産業廃棄物処理事業(※)	歳入総額	-	283,292,820	▲ 283,292,820	▲ 100.0	
	歳出総額	-	283,292,820	▲ 283,292,820	▲ 100.0	
	歳入歳出差引額	-	0	0	-	
墓園事業	歳入総額	81,674,856	66,386,638	15,288,218	23.0	
	歳出総額	81,674,856	66,386,638	15,288,218	23.0	
	歳入歳出差引額	0	0	0	-	
駐車場事業	歳入総額	46,130,087	39,762,270	6,367,817	16.0	
	歳出総額	28,028,722	29,109,432	▲ 1,080,710	▲ 3.7	
	歳入歳出差引額	18,101,365	10,652,838	7,448,527	69.9	
水道事業会計 下水道事業会計を除く 合計	歳入総額	50,341,033,616	50,381,172,888	▲ 40,139,272	▲ 0.1	
	歳出総額	48,928,363,205	48,490,630,175	437,733,030	0.9	
	歳入歳出差引額	1,412,670,411	1,890,542,713	▲ 477,872,302	▲ 25.3	

(※) 令和4年度から産業廃棄物処理事業特別会計を廃止しています。

## Ⅱ. 普通会計決算

※普通会計とは…各市町村では会計区分が異なります。そこで、地方公共団体を統一的な基準で比較するため地方財政統計上用いられる会計区分のことをいいます。  
 恵庭市では、一般会計及び土地区画整理事業、土地取得事業及び墓園事業各特別会計の合計です。

### 1.歳入決算の概要

市税収入では、個人市民税における納税義務者数の増加や総所得の増加、たばこ税の売上本数の増、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた特例措置の終了に伴う固定資産税の増等により、全体としては前年度比で約1億9千6百万円の増収となりました。地方消費税交付金は、消費の伸び等の影響により、約1億1百万円の増収となりました。

国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症対策関連の補助金の減などにより、前年度比約17億3千8百万円の減収となりました。寄附金は、ふるさと納税サイト等を活用したPRにより、前年度から継続して増加に繋がりました。地方債は、恵庭小学校長寿命化改良事業の終了や国営かんがい排水事業債の減、臨時財政対策債の減などにより、全体として発行額が減少しました。結果、歳入決算額は、前年度比約1億9千1百万円の減収となっています。また、歳入額の56.1%は他からの財源に依存しており、国や道からの影響を受けやすい傾向にあります。

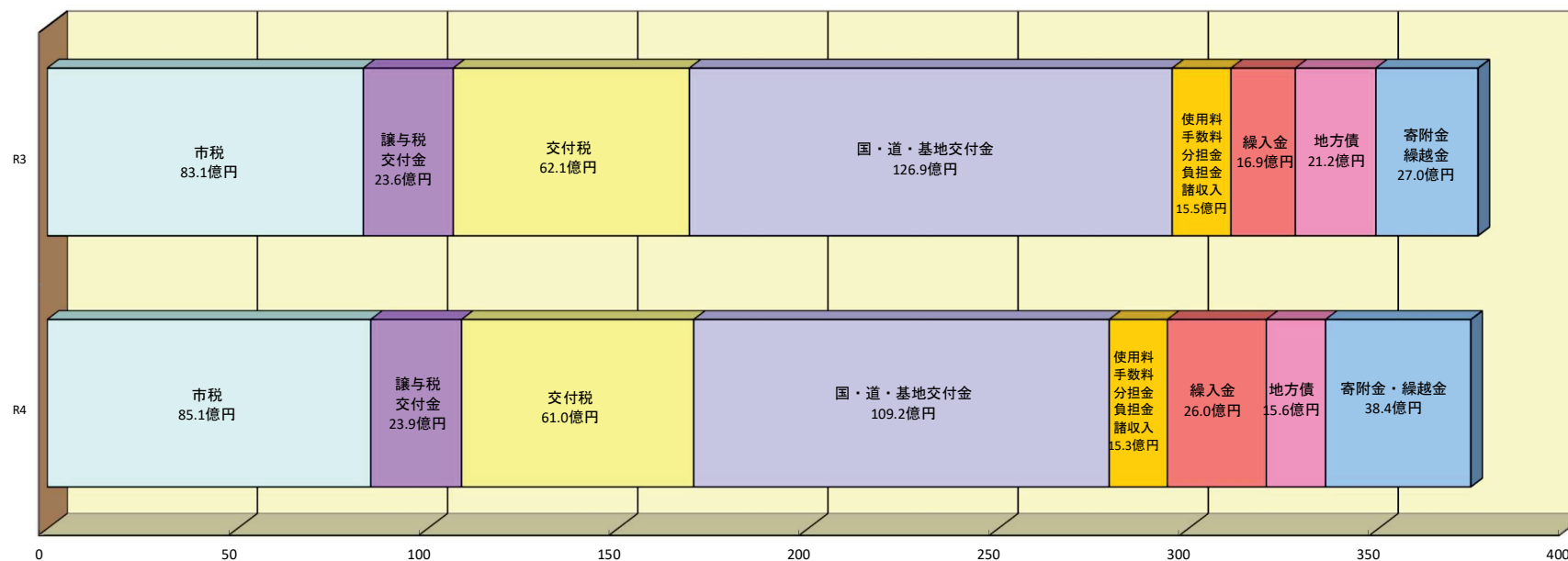
#### ① 款別歳入決算の内訳

(単位:千円・%)

款	令和4年度		令和3年度		比較増減		説明(主な増減の内容)	
	決算	構成比	決算	構成比	増減額	増減率		
1 市 税	8,507,749	22.7	8,311,941	22.1	195,808	2.4		
主な税目(現年度)	市 民 税 (個人)	3,240,577	—	3,198,033	—	42,544	1.3	○調定額 対前年度比+38,013千円 収納率99.6%
	市 民 税 (法人)	476,468	—	489,713	—	▲ 13,245	▲ 2.7	○調定額 対前年度比▲12,398千円 収納率99.8%
	純 固 定 資 産 税 (都市計画税含む)	3,979,462	—	3,843,984	—	135,478	3.5	○調定額 対前年度比+136,491千円 収納率99.8%
	た ば こ 税	573,636	—	529,928	—	43,708	8.2	○売上本数 対前年度比+3,506千本
	滞 納 繰 越 分	32,935	—	61,480	—	▲ 28,545	▲ 46.4	○収納率26.7%(対前年度比 ▲10.8%)
2 地 方 譲 与 税	261,926	0.7	264,438	0.7	▲ 2,512	▲ 0.9		
	地 方 揮 発 油 譲 与 税	63,303	—	66,468	—	▲ 3,165	▲ 4.8	
	自 動 車 重 量 譲 与 税	189,477	—	190,042	—	▲ 565	▲ 0.3	
	森 林 環 境 譲 与 税	9,146	—	7,928	—	1,218	15.4	
3 利 子 割 交 付 金	3,123	0.0	4,904	0.0	▲ 1,781	▲ 36.3		
4 配 当 割 交 付 金	22,982	0.1	25,156	0.1	▲ 2,174	▲ 8.6		
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	18,631	0.0	30,677	0.1	▲ 12,046	▲ 39.3		
6 法 人 事 業 税 交 付 金	100,763	0.3	81,359	0.2	19,404	23.8		
7 地 方 消 費 税 交 付 金	1,800,647	4.8	1,699,257	4.5	101,390	6.0		
8 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	61,103	0.2	49,093	0.1	12,010	24.5		
9 自 動 車 税 環 境 性 能 割 交 付 金	22,668	0.1	17,728	0.0	4,940	27.9		
10 国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	250,047	0.7	247,602	0.7	2,445	1.0		
11 地 方 特 例 交 付 金	84,250	0.2	177,727	0.5	▲ 93,477	▲ 52.6	○新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金 ▲95,483千円 ○個人住民税減収補填特例交付金+11,658千円 ○自動車税減収補填特例交付金 ▲4,927千円(皆減) ○軽自動車税減収補填特例交付金 ▲4,725千円(皆減)	

款	令和4年度		令和3年度		比較増減		説明(主な増減の内容)
	決算	構成比	決算	構成比	増減額	増減率	
12 地方交付税	6,102,276	16.3	6,208,939	16.5	▲ 106,663	▲ 1.7	
普通交付税	5,433,508	—	5,510,931	—	▲ 77,423	▲ 1.4	○R4年度普通交付税交付額算定内訳 ○主な増減要因(対前年度比) <収入> ・基準財政需要額 13,413,042千円(対前年度比+288,400千円) ・基準財政収入額 7,979,534千円(対前年度比+365,823千円) <需要> ・市民税(所得割)+119,955千円 ・市民税(法人税割)+78,218千円 ・地方消費税交付金+70,913千円 ・包括算定経費(人口)▲97,756千円 ・生活保護費▲62,290千円 ・社会福祉費+49,828千円 ・その他の教育費(人口)▲27,600千円
特別交付税	668,768	—	698,008	—	▲ 29,240	▲ 4.2	○主な増減要因(対前年度比) ・緊急防災・減災+23,552千円 ・除排雪▲45,977千円 ・原油価格高騰対策▲26,303千円 ・交通施設バリアフリー化▲11,070千円
13 交通安全対策特別交付金	9,976	0.0	11,055	0.0	▲ 1,079	▲ 9.8	
14 分担金及び負担金	46,073	0.1	47,161	0.1	▲ 1,088	▲ 2.3	
15 使用料及び手数料	859,474	2.3	742,867	2.0	116,607	15.7	○主な増減要因(対前年度比) ・家庭廃棄物処理手数料(可燃分)+84,651千円 ・事業系一般廃棄物処分手数料(可燃分)+13,504千円 ・公園使用料(道と川の駅)+7,755千円 ・産業廃棄物処理手数料(不燃)+7,206千円
16 国庫支出金	8,210,133	21.9	9,948,303	26.4	▲ 1,738,170	▲ 17.5	
生活保護費負担金	1,165,956	—	1,148,819	—	17,137	1.5	
子どものための教育・保育給付費	953,381	—	981,357	—	▲ 27,976	▲ 2.9	
自立支援給付費	816,900	—	756,920	—	59,980	7.9	
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	776,322	—	1,256,480	—	▲ 480,158	▲ 38.2	
その他国支出金	4,497,574	—	5,804,727	—	▲ 1,307,153	▲ 22.5	○主な増減要因(対前年度比) ・物価高騰緊急支援給付金事業費+375,800千円 ・公営住宅等整備事業交付金+161,649千円 ・防災行政無線更新整備事業費+145,214千円 ・恵庭ふるさと公園再整備事業費+83,438千円 ・子育て世帯臨時特別給付金事業費▲1,213,860千円 ・住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業費▲460,600千円 ・恵庭小学校長寿命化改修事業費▲181,031千円 ・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金▲179,424千円
17 道支出金	2,464,336	6.6	2,496,220	6.6	▲ 31,884	▲ 1.3	
子どものための教育・保育給付費	526,035	—	555,881	—	▲ 29,846	▲ 5.4	
その他道支出金	1,938,301	—	1,940,339	—	▲ 2,038	▲ 0.1	
18 財産収入	186,353	0.5	102,953	0.3	83,400	81.0	○主な増減要因(対前年度比) ・市有地処分収入+88,191千円
19 寄附金	2,515,949	6.7	1,867,358	5.0	648,591	34.7	○主な増減要因(対前年度比) ・まちづくり推進基金寄附+467,722千円 ・子育て基金寄附+135,153千円
20 繰入金	2,600,479	6.9	1,690,150	4.5	910,329	53.9	○主な増減要因(対前年度比) ・まちづくり推進基金繰入金+990,350千円 ・子育て基金繰入金+41,020千円 ・公共施設等管理保全基金繰入金+34,203千円 ・財政調整基金繰入金▲98,114千円
21 繰越金	1,319,071	3.5	832,396	2.2	486,675	58.5	
22 諸収入	437,033	1.2	652,981	1.7	▲ 215,948	▲ 33.1	○主な増減要因(対前年度比) ・柏木川9遺跡発掘調査事業費負担金+54,608千円 ・商品券販売収入▲279,464千円
23 市債	1,558,110	4.2	2,123,576	5.6	▲ 565,466	▲ 26.6	
建設事業充当市債	1,251,200	—	1,388,100	—	▲ 136,900	▲ 9.9	○主な増減要因(対前年度比) ・市営住宅建設事業債+219,400千円 ・地方道路等整備事業債+66,300千円 ・公園施設整備事業債+63,700千円 ・恵庭小学校長寿命化改良事業債▲322,600千円 ・国営かんがい排水(恵庭北島地区)事業債▲131,500千円
経常経費充当市債	306,910	—	735,476	—	▲ 428,566	▲ 58.3	○臨時財政対策債▲433,866千円 ○上水道事業出資債+5,300千円
歳入合計	37,443,152	100.0	37,633,841	100.0	▲ 190,689	▲ 0.5	

## ②款別歳入決算額の内訳(図)



## ★ 用語説明 ★

市 税： 市民税や法人市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など

譲 与 税 ・ 交 付 金： 国・道が基準に基づき市町村に譲与・交付するもの。 地方消費税交付金など

交 付 税： 団体間の財源の不均衡を調整し、すべての地方団体が一定の水準を維持できる財源を保障するために、国税の一定割合を基準に基づいて市町村に交付するもの

国・道・基地交付金： 国や道からの支出金。基地交付金は、自衛隊駐屯地等が所在することによる交付金

使用料・手数料等： 施設やサービスの利用者に負担していただく費用など

繰 入 金： 基金(市の貯金)を取り崩したものなど

地 方 債： 長期的な借入金(借金)

寄 附 金 ・ 繰 越 金： ふるさと納税をはじめとした寄附金及び前年度の剰余金を繰越したもの

家計と自治体を同列に扱うのは難しい部分がありますが、家計と地方自治体財政の大きな違いの一つに借金があげられます。地方自治体では借金のことを「地方債」といいますが、令和4年度は約16億円の借金をしました。地方自治体が借金をする理由には、現在恵庭市に居住している方だけではなく、将来の住民に公共サービスの対価を負担をしていただくという考え方があります。

例えば小学校や中学校は、今の子どもだけではなく、将来生まれてくる子どもも同じように通うことになります。公園であれば、今の住民だけではなく、今後転入をしてくる方も使うことになるでしょう。現在と将来の恵庭市民への負担を公平にするという考えのもとで、必要に応じて借金をしていますので、借金をしていること = 財政状況が悪い ではないことをご理解いただければ幸いです。

## 2.歳出決算の概要

歳出では、第5期総合計画や総合戦略に掲げる施策を着実に推進するとともに、恵庭ふるさと公園再整備事業や市営住宅恵央団地6号棟建設事業、生活環境改善要望事業などを通して生活環境の改善を図りました。

また、国内最大級の花と緑の祭典「全国都市緑化北海道フェア」を恵庭市「はなふる」をメイン会場として開催し、恵庭の魅力を内外に発信することができました。

このほか、子ども医療費助成の対象年齢の拡大、妊産婦健康診査・出産時通院交通費助成の開始など、子育てしなくなるまちづくりに取り組んだほか、新型コロナウイルス感染症対策としては、地方創生臨時交付金を活用して全市民を対象とした商品券の配付や、低所得世帯等への生活支援金の支給など、各種事業に取り組みました。

### ①目的別決算額及び財源の内訳

(単位:千円・%)

款名	令和4年度				令和3年度			決算額比較	
	決算額	構成比	特定財源	一般財源	決算額	構成比	一般財源	増減額	増減率
1 議会費	222,127	0.6	0	222,127	220,226	0.6	220,226	1,901	0.9
2 総務費	7,088,658	19.5	4,059,412	3,029,246	6,023,623	16.7	3,104,567	1,065,035	17.7
3 民生費	12,017,402	33.1	6,946,391	5,071,011	12,115,738	33.7	4,594,420	▲ 98,336	▲ 0.8
4 衛生費	2,972,197	8.2	1,405,803	1,566,394	2,847,510	7.9	1,407,973	124,687	4.4
5 労働費	28,087	0.1	3,758	24,329	26,129	0.1	24,129	1,958	7.5
6 農林水産業費	509,647	1.4	320,210	189,437	655,181	1.8	203,369	▲ 145,534	▲ 22.2
7 商工費	1,193,776	3.3	432,029	761,747	2,163,486	6.0	613,174	▲ 969,710	▲ 44.8
8 土木費	4,849,332	13.4	2,551,305	2,298,027	4,342,100	12.1	2,589,511	507,232	11.7
9 消防費	925,632	2.6	102,415	823,217	945,751	2.6	898,000	▲ 20,119	▲ 2.1
10 教育費	3,671,135	10.1	1,185,375	2,485,760	3,986,909	11.1	2,257,053	▲ 315,774	▲ 7.9
11 災害復旧費	—	0.0	—	—	—	0.0	—	0	—
12 公債費	2,791,514	7.7	95,261	2,696,253	2,664,671	7.4	2,487,595	126,843	4.8
歳出合計	36,269,507	100.0	17,101,959	19,167,548	35,991,324	100.0	18,400,017	278,183	0.8

### ②主な性質別経費及び財源の内訳

(単位:千円・%)

性質別区分	令和4年度				令和3年度			比較増減	
	決算額	構成比	特定財源	一般財源	決算額	構成比	一般財源	増減額	増減率
人件費	4,560,528	12.6	349,685	4,210,843	4,635,150	12.9	4,250,396	▲ 74,622	▲ 1.6
物件費	6,043,326	16.7	2,504,488	3,538,838	5,644,238	15.7	3,560,946	399,088	7.1
扶助費	7,354,208	20.3	5,436,605	1,917,603	8,204,734	22.8	1,753,244	▲ 850,526	▲ 10.4
補助費等	4,735,727	13.0	2,413,696	2,322,031	5,269,920	14.6	1,916,582	▲ 534,193	▲ 10.1
普通建設事業費	3,840,085	10.6	3,074,353	765,732	3,239,861	9.0	658,066	600,224	18.5
公債費	2,791,514	7.7	95,261	2,696,253	2,664,649	7.4	2,487,573	126,865	4.8
繰出金	2,515,903	6.9	523,102	1,992,801	2,430,745	6.8	1,925,723	85,158	3.5

③性別歳出決算額の内訳

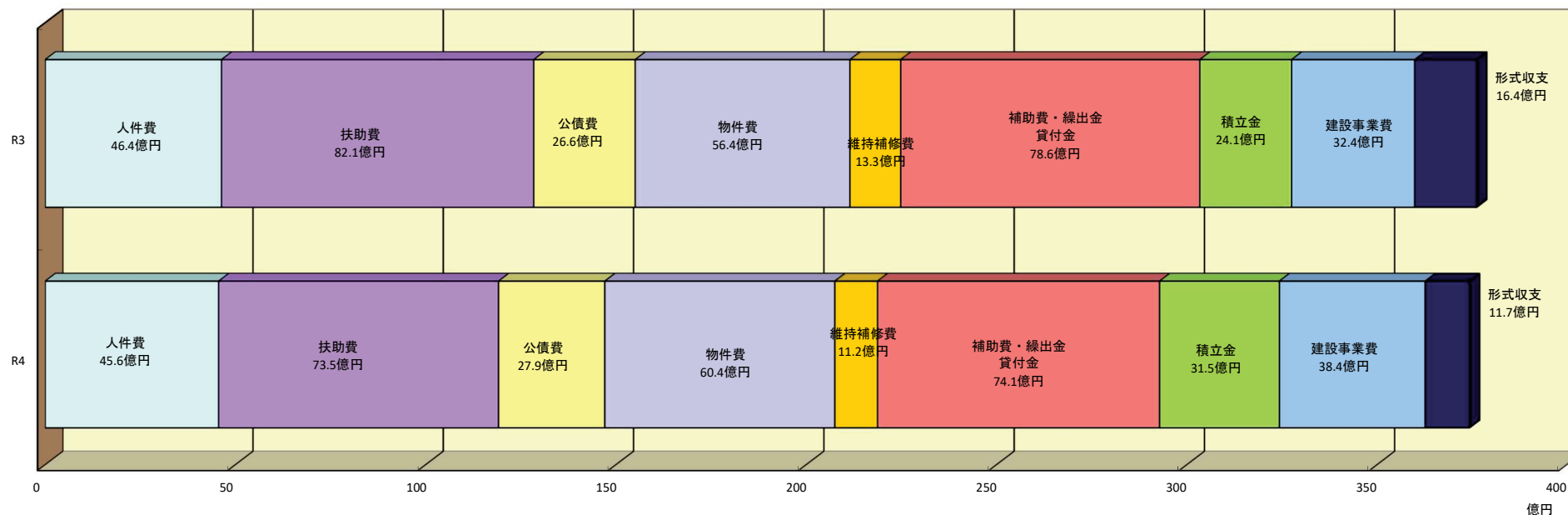
(単位:千円・%)

性別区分	令和4年度		令和3年度		比較増減		説明(主な項目)
	決算	構成比	決算	構成比	増減額	増減率	
人件費	4,560,528	12.6	4,635,150	12.9	▲74,622	▲1.6	○年度末正職員数(R3 479人→R4 474人) ・職員給(再任用職員含む) +5,978千円 ・会計年度任用職員給与・報酬 ▲20,690千円 ・退職手当組合負担金 ▲30,958千円
物件費	6,043,326	16.7	5,644,238	15.7	399,088	7.1	○主な増減要因(対前年度比) ・ふるさと納税事業費 +133,420千円 ・焼却施設関連委託 +127,891千円 ・OA化推進事業費 +59,539千円 ・光熱水費 +33,221千円
維持補修費	1,122,572	3.1	1,332,021	3.7	▲209,449	▲15.7	○主な増減要因(対前年度比) ・道路維持関連業務委託 ▲293,105千円 ・路線排雪運搬委託 ▲70,741千円 ・街路樹等管理委託 +9,636千円
扶助費	7,354,208	20.3	8,204,734	22.8	▲850,526	▲10.4	○主な増減要因(対前年度比) ・子育て世帯臨時特別給付金 ▲1,047,410千円 ・住民税非課税世帯等臨時特別給付金 ▲460,600千円 ・出産・子育て応援給付金 +39,550千円 ・物価高騰緊急支援給付金 +375,800千円 ・高齢者世帯等生活支援給付金 80,112千円 ・障がい児・者給付金 +167,566千円
補助費等	4,735,727	13.0	5,269,920	14.6	▲534,193	▲10.1	○主な増減要因(対前年度比) ・全国都市緑化フェア開催事業費 +62,110千円 ・ふるさと納税事業費 +239,117千円 ・感染防止対策協力支援金 ▲918,565千円
普通建設事業費	3,840,085	10.6	3,239,861	9.0	600,224	18.5	
(補助事業)	(1,876,164)	5.2	(2,014,219)	5.6	▲138,055	▲6.9	○主な増減要因(対前年度比) ・無線放送施設整備費 +195,763千円 ・恵浄殿改修事業費 +82,054千円 ・花の拠点整備事業費 ▲38,789千円 ・道路橋梁改修事業費 +61,484千円 ・南28号線道路整備事業費 +134,583千円 ・恵庭ふるさと公園再整備事業費 +170,786千円 ・全国都市緑化フェア整備事業費 ▲47,205千円 ・恵央団地6号棟建設事業費 +371,165千円 ・高規格救急自動車更新整備事業費 +39,170千円 ・学校給食センター施設設備更新事業費 +81,299千円 ・教育用端末整備事業費 +93,069千円
(単独事業) <small>※道営事業負担金、委託事業費含む</small>	(1,963,921)	5.4	(1,225,642)	3.4	738,279	60.2	
災害復旧費	0	0.0	0	0.0	0	—	
公債費	2,791,514	7.7	2,664,649	7.4	126,865	4.8	○主な増減要因(対前年度比) ・元金償還 +128,971千円 ・利子償還 ▲2,101千円
積立金	3,145,563	8.7	2,410,889	6.7	734,674	30.5	○主な増減要因(対前年度比) ・財政調整基金積立金 ▲142,195千円 ・まちづくり推進基金積立金 +602,005千円 ・子育て基金積立金 +125,061千円 ・公共施設等管理保全基金積立金 +90,354千円
投資・出資金	128,081	0.3	126,117	0.3	1,964	1.6	
貸付金	32,000	0.1	33,000	0.1	▲1,000	▲3.0	○主な増減要因(対前年度比) ・市中小企業振興融資預託金 ▲1,000千円
繰出金	2,515,903	6.9	2,430,745	6.8	85,158	3.5	○主な増減要因(対前年度比) ・北海道後期高齢者医療保険負担金 +56,330千円
予備費	0	0.0	0	0.0	0	—	
合計	36,269,507	100.0	35,991,324	100.0	278,183	0.8	

④ 性質別歳出決算額の内訳(図)

前年度比で歳出合計は約2.8億円増加しています。大きく増加した性質は、積立金・建設事業費・物件費です。積立金は、ふるさと納税による寄附が前年に引き続き増加しており、今後の事業のために基金に積立をしたことから増加しています。建設事業費は、恵央団地6号棟建設事業や無線放送施設整備事業の事業費が増加したことにより増加しています。物件費は、ふるさと納税事業実施に伴う事業費や焼却施設関連委託費の増により増加しています。

一方で減少した主な性質は、扶助費・補助費・維持補修費です。扶助費は、コロナ対策事業として令和3年度に実施した子育て世帯臨時特別給付事業が皆減となり減少しています。補助費は、同じくコロナ対策事業として令和3年度に実施した感染防止対策協力支援事業が大きく減少したことで減少しています。維持補修費は、令和3年度の記録的な大雪対応による除排雪経費が減少したことで減少しています。



★ 用語説明 ★

- 人 件 費： 議員報酬や職員給料、共済費など
- 扶 助 費： 生活保護費や高齢者、障がい者、保育園等の社会保障費
- 公 債 費： 市の借入金にかかる返済金
- 物 件 費： 施設の光熱水費などの管理費や委託料、物品の購入経費など
- 維 持 補 修 費： 施設等の維持補修、除排雪等に要した経費など
- 補助費・繰出金・貸付金： 各種団体等への補助金・負担金や特別会計への支払いなど
- 積 立 金： 特定の目的のために設けられた基金への積立
- 建 設 事 業 費： 道路や学校、公園などの建設、大規模改修などの費用

形式収支の11.7億円は、その年度の歳入総額から歳出総額を差引きしたものです。このお金は、令和5年度のお財布に繰越したり、基金に貯金をします。



### Ⅲ. 健全化判断比率の状況

#### ①健全化判断比率の状況

##### (1) 国が示す財政状況の健全度(危険度)の基準

夕張市の破綻に端を発し、国がまちの財政の健全度や危険度がどのくらいなのか住民に理解していただくため、4つの指標(健全化判断比率)の公表を義務付けました。  
指標からは、収支の赤字度合いや、借金負担の危険度がわかります。

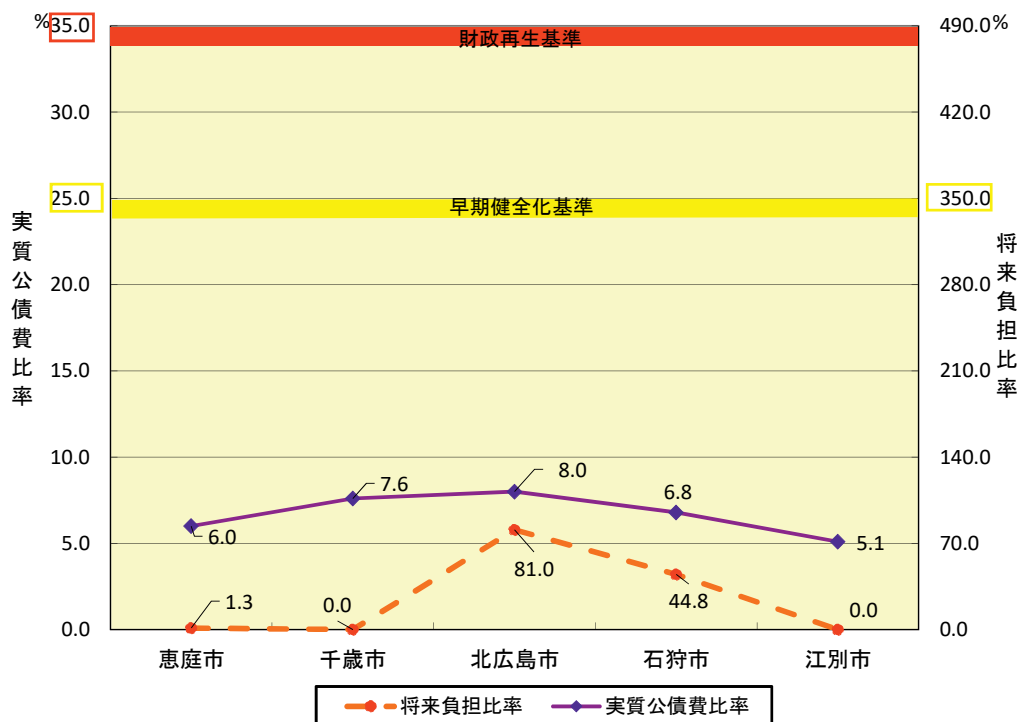
##### (2) 恵庭市の財政健全化判断比率

それぞれの比率は、値が基準を超えた場合に市の財政が危機的状況にあることを示していますが、恵庭市は、4つの指標全てが基準を下回っています。今後も、無計画な財政運営をしない限り基準を上回ることはないでしょう。しかし、これらの指標が今後少子高齢化が進むとともにどういった影響を受けるのか、様々な要因が考えられ、予想することは困難です。  
わたしたち職員だけではなく、市民の皆様や議会でもこうした指標によって恵庭市の財政状況をチェックしていただくことが重要となっていきます。

1.国が示す財政状況の健全度の基準		実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	説明
国が示した基準	早期健全化基準	12.73	17.73	25.0	350.0	この基準を超えると、財政状況が悪化したとみなされ、自主的な改善努力による財政健全化を図らなければなりません。
	財政再生基準	20.00	30.00	35.0		この基準を超えると、財政状況が極端に悪化したとみなされ、国などの関与により確実な再生を図らなければなりません。

2.恵庭市の財政健全化判断比率		実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	備考
令和4年度決算		—(※)	—(※)	6.0	1.3	(※)実質赤字比率、連結実質赤字比率は、黒字決算の場合「—」表示になります。

#### ②石狩管内他市との比較



主な財政指標	恵庭市	千歳市	北広島市	石狩市	江別市
実質公債費比率	6.0%	7.6%	8.0%	6.8%	5.1%
将来負担比率	1.3%	—	81.0%	44.8%	—
財政力指数	0.597	0.740	0.630	0.541	0.537
経常収支比率	93.7%	88.2%	95.3%	94.7%	89.8%

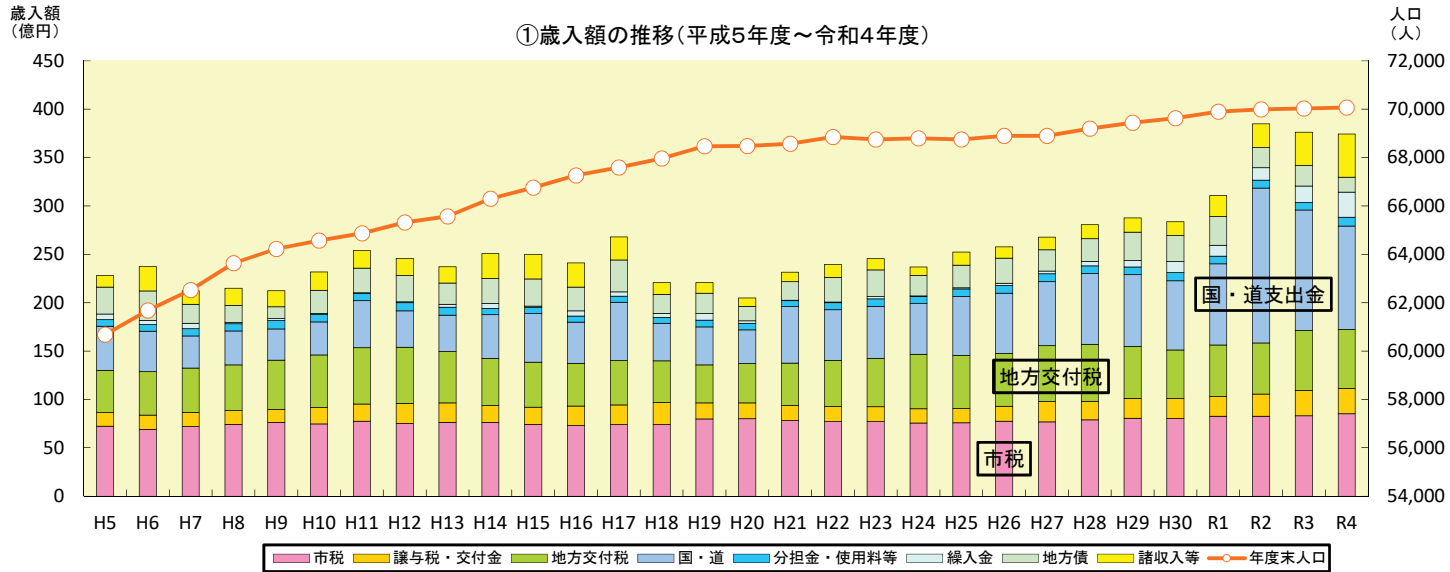
※ 恵庭市を除く4市の指標については、連報値を用いているため確定値と異なる場合があります。

実質公債費比率は、石狩管内では二番目に低い数値となりました。将来負担比率は管内では中位にいます。  
令和3年度に改定した、「恵庭市財政運営の基本指針」においては、実質公債費比率は6.4%程度、将来負担比率を38.3%程度を目標にしています。  
今後も、将来世代への負担が適切となるよう、健全な財政運営に努めます。

#### 財政用語MEMO

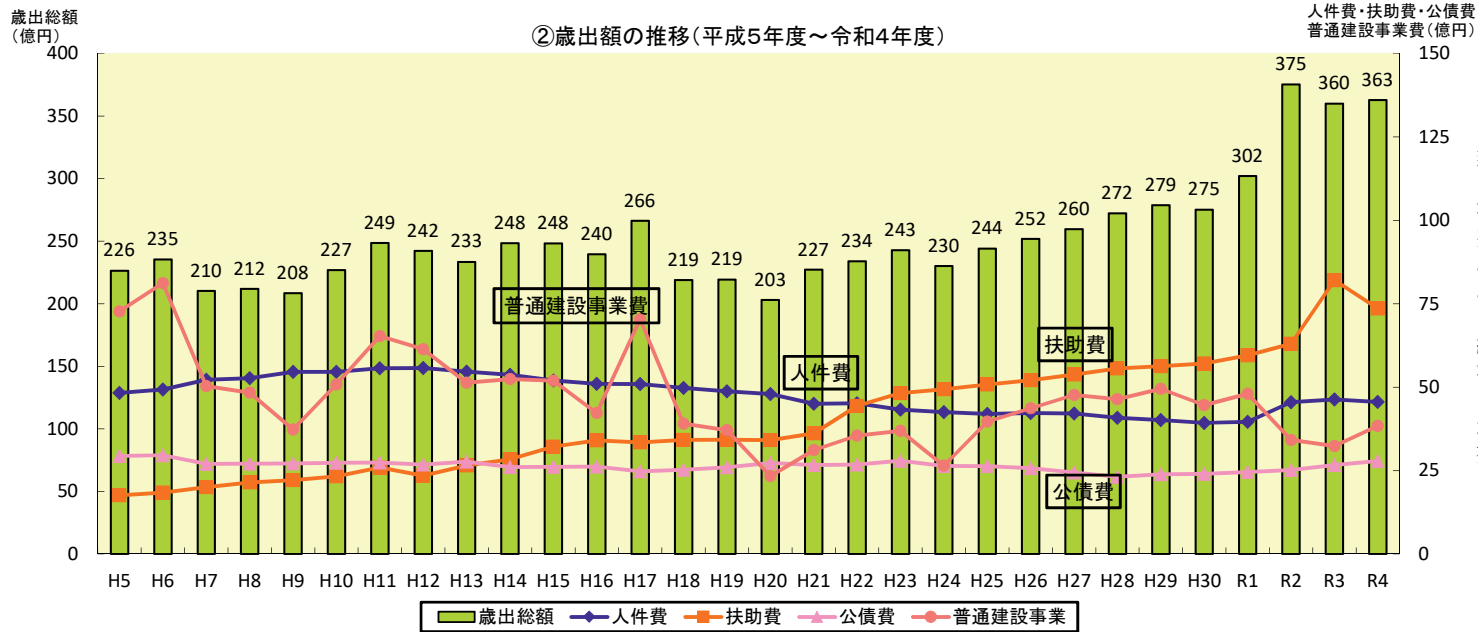
- 実質赤字比率** 一般会計等の実質赤字額が、標準的な収入に対してどのくらいの割合にあるかを示した指標
- 連結実質赤字比率** 一般会計以外の特別会計や企業会計を含めた、恵庭市の全会計の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるかを示した指標
- 実質公債費比率** 一般会計等が負担する長期借入金の返済やそれに準ずる支出が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるかを示した指標
- 将来負担比率** 一般会計等が抱える実質的な負債の残高が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるかを示す指標
- 財政力指数** 普通交付税の算定で用いた基準財政収入額を基準財政需要額で割った値1.00を下回ると普通交付税交付団体となる
- 経常収支比率** 経常的に支出される一般財源の額(経常経費充当一般財源)が、経常的に収入される一般財源の総額(経常一般財源総額)に占める割合

## IV. 収入と支出の推移



市の収入の根幹である市税収入は、近年は横ばい～微増となっていますが、人口増や企業進出を背景として令和4年度は初めて85億円を超えました。国・道支出金は、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症対策関連の補助金・交付金により大幅に増加していましたが、徐々に減少してきています。

ふるさと納税による寄附額は、一度基金へ積立てし、後年時に事業の財源として活用しています。ふるさと納税額の増加に伴い、近年は繰入金の決算額が増加しています。



歳出総額は、令和2年度以降、様々な新型コロナウイルス感染症対策事業を行ったことにより大幅に増加しています。

扶助費は、令和3年度に行った住民税非課税世帯への給付事業の分減少していますが、障がい者福祉費(自立支援給付費など)の増や子育て支援推進費(施設型給付事業負担金など)の増など、年々増加を続けており、高齢化の進展を踏まえると、社会保障費の増加が予想されます。

いわゆるハード整備を意味する普通建設事業は、全国都市緑化北海道フェア関連事業や市営住宅恵央団地6号棟建設事業などがあり増加しました。

今後も市民のみなさまの声を聞き、事業の取捨選択を行いながら、時代とニーズにあったサービスを安定的に提供できるよう努めていきます。

## IV-1.ピックアップ！ 新型コロナウイルス対策事業

## 令和4年度に実施した主な事業

## 国や北海道の事業

**新型コロナウイルス  
ワクチン接種事業**  
**6億2,063万5千円**

※国事業

ワクチン接種を迅速かつ適切に実施できるよう、ワクチン接種体制の人的整備や、接種券等の発送、相談体制構築などを実施しました。市内医療機関19施設で個別接種、総合体育館等で集団接種を実施しました。

**PCR検査センター事業**
**299万2千円**

※道事業

北海道から委託を受けてPCR検査センターを設置し、地域医療体制の確保と感染拡大防止を図りました。  
 開設日数 105日  
 検査数 1,133件  
 ※令和2年度から継続事業

**物価高騰緊急支援給付  
事業**
**4億924万6千円**

※国事業

電力やガスなどの価格高騰により家計の負担が急激に増加することとなった低所得世帯に対し、家計支援として5万円の緊急支援給付金を支給しました。  
 支給世帯 7,516世帯

令和3年度に行われた新型コロナウイルス感染症対策に関する事業が終了・縮小となったため、令和4年度の事業費は前年度対比で大幅に減少しています。

## 恵庭市の事業

**えにわワクワク商品券  
事業**  
**3億7,311万5千円**

新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ市内経済の回復、物価高騰の影響を受ける市民の生活支援を目的として全市民を対象に、最大6千円分利用できる商品券を配布しました。  
 商品券使用額  
 3億3,339万9,600円

**小規模事業者事業  
継続支援金支給事業**  
**1億5,150万円**

新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少した小規模事業者で、休業、時間短縮営業による協力支援金を受給した飲食店等以外の事業者に対し、1店舗につき20万円の支援金を支給しました。  
 支給事業者 757事業者

**教育・保育施設物価  
高騰対策支援事業**  
**485万2千円**

光熱費・物価高騰の影響を受けている市内教育・保育施設が安定して事業継続できるよう、必要な経費の一部を助成しました。

## ウィズコロナ ⇒ アフターコロナ

令和2年に国内初の感染を確認して以降、感染者数の拡大、減少を繰り返していましたが、新型コロナウイルス感染症の位置づけは、令和5年5月8日から「5類感染症」に移行し、ようやく「アフターコロナ」に転換しつつある状況です。

恵庭市では、令和4年度においても市民の生活を守るため、消費者・事業者に対する経済支援、ウィズコロナ・アフターコロナに関連する事業に取り組みました。  
 ここでは、コロナ対策として取り組んだ主な事業について取り上げます。

国や道の補助・委託事業により、引き続き、新型コロナウイルスワクチン接種やPCR検査センターを開設するなど、感染拡大や重症化リスクの低減、地域医療体制の確保に努めました。  
 地域経済への支援としては、令和3年度から引き続き、国及び道の事業として感染防止対策協力支援金の支給を行いました。

市の事業としては、えにわワクワク商品券の発行や、小規模事業者へ事業継続支援金を支給するなど消費者及び事業者支援を行いました。

このほか、エネルギー価格等の物価高騰に直面し、支出が増加する市内の医療機関、介護福祉施設、障がい福祉施設に対し、安定したサービスが提供できるよう事業運営費の一部を助成しました。

## ～このほかに実施した主な事業～

【令和4年度実施】 総額 23億4,855万6千円

- ・学校感染予防対策事業 1,807万2千円(国補助を受けた市事業)
- ・Web会議環境整備事業 924万1千円
- ・生活困窮者自立支援金支給事業 3,201万8千円(国事業)
- ・子育て世帯臨時特別給付事業 884万8千円(国事業)
- ・子育て世帯生活支援特別給付事業 7,652万3千円(国事業)
- ・子育て世帯臨時特別給付事業 1,465万円(道事業)
- ・住民税非課税世帯等臨時特別給付事業 2億2,208万4千円(国事業)

【令和3年度実施】 総額 47億3,393万円

- ・GIGAスクール推進事業 2億425万円
- ・高度無線環境整備事業 1億3,409万3千円
- ・子育て世帯生活支援特別給付事業 7,663万2千円(国事業)
- ・教育・保育施設等感染予防対策事業 1,052万2千円
- ・子育て世帯臨時特別給付事業 10億6,356万円(国事業)
- ・住民税非課税世帯等臨時特別給付事業 6億7,626万円(国事業)
- ・学童クラブ等感染予防対策事業 245万3千円

## IV-2.ピックアップ！ふるさと納税の状況

### ①ふるさと納税の推移

「Ⅱ. 普通会計決算 1.歳入決算の概要」では、寄附金の増加について説明しましたが、ここでは大幅に増加しているふるさと納税の状況について取り上げます。

恵庭市では、ふるさと納税サイト等を活用し、ふるさと納税増収のために継続的なPRを行ってきました。

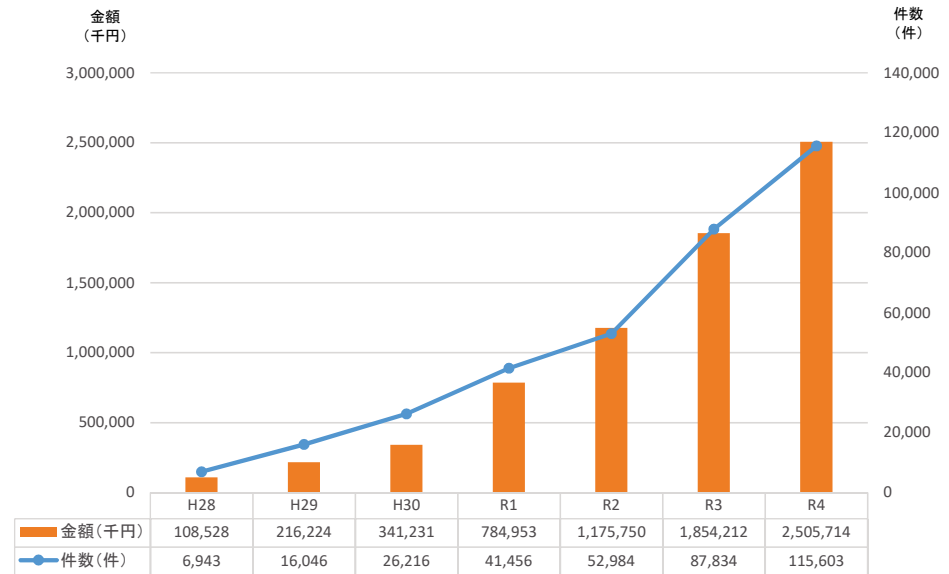
平成28年度のふるさと納税による寄附件数は6,943件、寄附金額は108,528千円でしたが、その後大幅に増加し続け、令和4年度には115,603件、寄附金額が2,505,714千円となり、寄附件数は16.7倍、寄附金額は23.1倍となりました。

また、前年度と比較すると、寄附件数は27,769件の増、寄附金額は651,502千円の増となっています。

寄附金額の伸びは前年比で約1.35倍となり、全国平均の約1.2倍を上回る伸びとなりました。

#### ※ ふるさと納税とは・・・

“応援したい・貢献したい”と思う自治体に寄附を行った場合、寄附金額2,000円を越える部分について、住んでいる自治体の個人住民税などから、一定の上限のもとで控除される制度です。



### ②令和4年度のふるさと納税寄附の内訳

活用する事業分野	令和4年度寄附	
	件数	金額(千円)
子育て支援事業	31,875	719,232
青少年・文化振興事業	1,617	36,608
高等学校等入学準備金支給事業	2,154	47,357
スポーツ振興事業	2,691	64,365
社会福祉推進事業	4,207	92,772
農業振興事業	6,626	151,838
水・緑・花のまちづくり事業	17,699	388,667
市長におまかせ(市が重点的に取り組む事業)	48,733	1,003,875
その他	1	500
合計	115,603	2,505,214

※上記の件数・金額は、市外の方からポータルサイトを經由していただいた寄附と市の窓口で直接納付いただいた寄附を合計したものです。

※「その他」…寄附者の意向により、学校給食費へ充当しています。

令和4年度に収入のあった寄附は、左表に示す寄附者の希望に沿った事業分野で活用します。

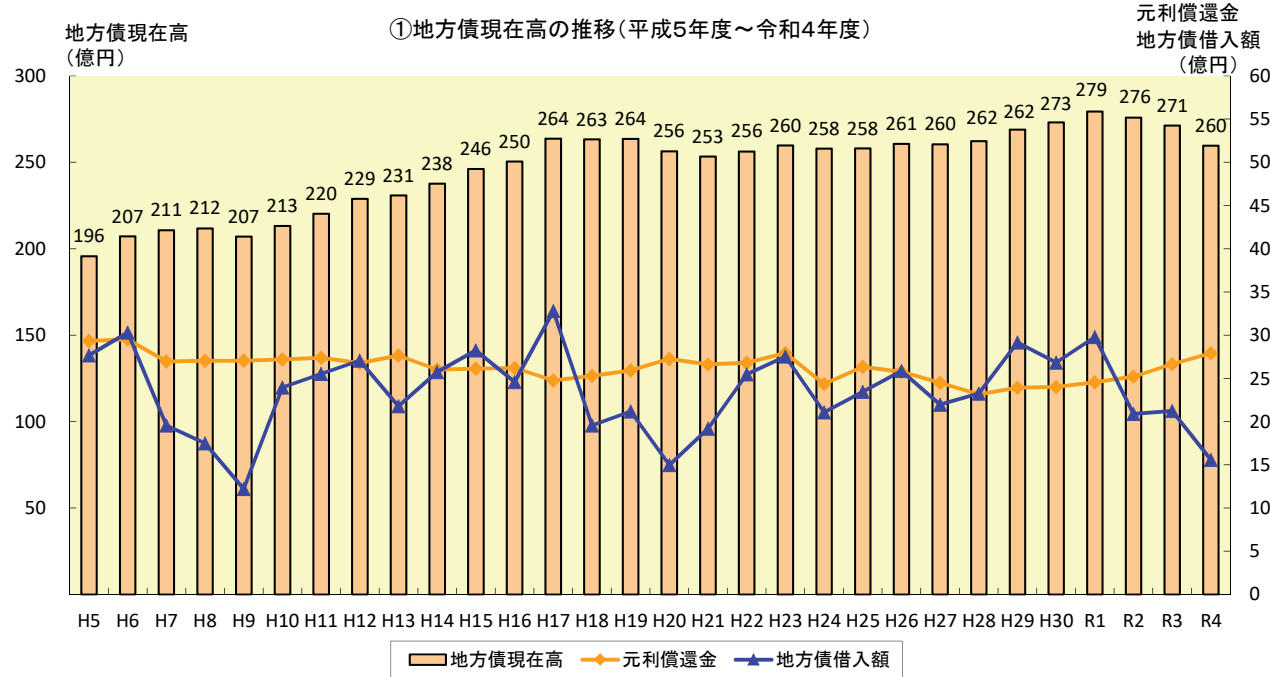
令和4年度の寄附金額2,505,714千円のうち、市長におまかせ(市が重点的に取り組む事業)への寄附が48,733件、1,004,375千円と最も多く寄せられました。次いで、子育て支援事業への寄附が31,875件、719,232千円と2番目に多く寄せられました。

寄附金は、寄附者の希望に沿った目的ごとに一度各基金へと積み立て、子育て支援に関する事業や、文化振興に関する事業、経済的理由により高等学校等に就学することが困難な生徒の保護者に対する入学準備金の支給事業、スポーツや社会福祉、農業の推進、振興にかかる事業を実施するために、計画的に活用しています。

令和4年度は、全国都市緑化北海道フェア開催事業、飼料・肥料高騰対策事業、母子保健事業、青少年育成事業、高齢者福祉支援事業、防災関連事業、学力・体力向上推進事業、道路・公園のバリアフリー推進や生活環境改善要望にかかる事業をはじめ、様々な事業に基金を活用しました。

「恵庭市を応援したい」という思いから寄せられたふるさと納税は、寄附していただいた方の意向を大切にしながら、様々な形で活用しています。今後もシティセールスなどによるPRを行いながら、ふるさと納税の寄附金額の増加に努めるとともに、いただいた寄附金を効果的に活用することにより、住みよいまちづくりを推進していきます。

## V. 地方債現在高と基金の状況



地方債現在高は平成17年度まで増加の一途をたどっていましたが、その後は減少傾向に転じました。

近年は、普通交付税の代替措置である臨時財政対策債の発行額が増加していることから地方債現在高が増加傾向にありましたが、令和2年度から再び減少傾向へ転じています。地方債借入額は、P3.歳入決算の概要 市債に記載のとおり、市営住宅建設事業等増加した事業もありましたが、恵庭小学校長寿命化改良事業等減少した事業の影響や、臨時財政対策債発行額の減などにより、前年度と比較しておよそ5億6千5百万円の減となりました。(①地方債現在高の推移)

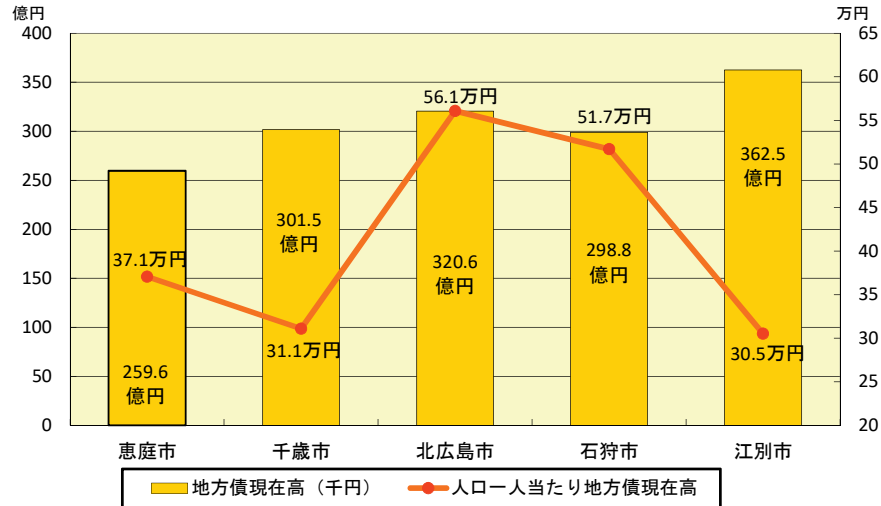
石狩管内での状況をみると人口一人当たり地方債現在高は、前年度まで江別市、千歳市に次いで管内3番目の低さです。(②石狩管内の令和4年度末地方債現在高の状況)

今後においても、歳入と歳出のバランスをしっかりと見定めながら、地方債現在高について安定的に推移するよう管理していきます。

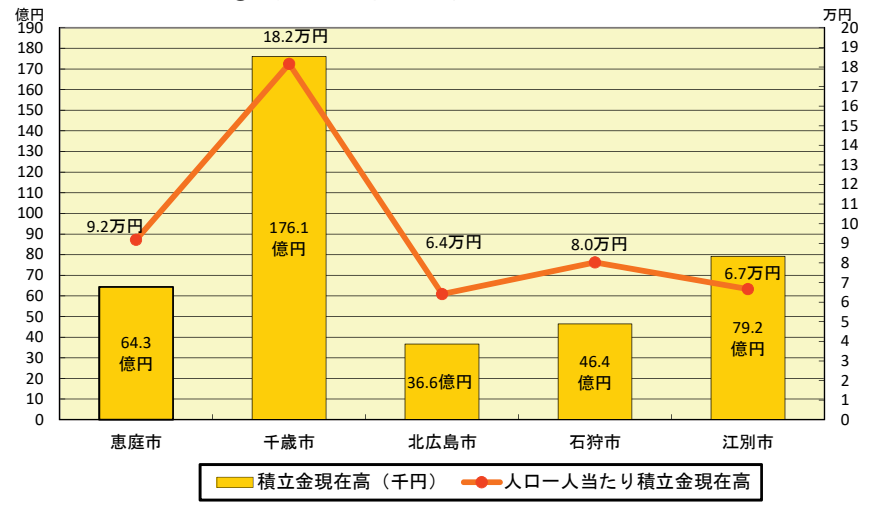
基金については、石狩管内の人口一人当たり積立金現在高は、千歳市に次いで2番目に多くなっています。ふるさと納税の増が、現在高増加要因の1つとなっています。今後も積立金現在高の管理を適切に行い、効果的な活用により住みよいまちづくりの推進に努めていきます。(③石狩管内の令和4年度末基金の状況)

②石狩管内の令和4年度末地方債現在高の状況

※恵庭市を除く4市の指標は速報値を用いているため確定値と異なる場合があります。



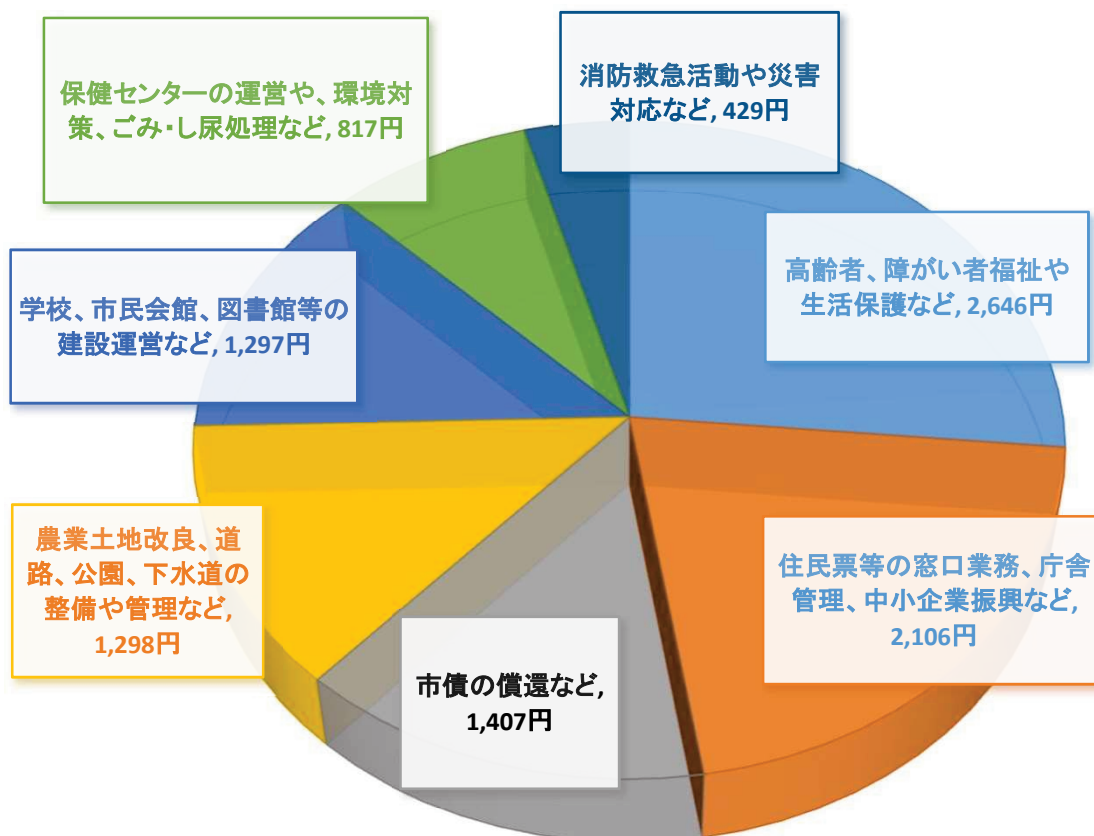
③石狩管内の令和4年度末基金の状況



## VI. おわりに

### ①市税の使いみち

令和4年度市民税1万円の使いみち



### ② おわりに

納税していただいた市税の使いみちを示すと上記のとおりです。

市役所の仕事で最も身近な税金の使い道は、ごみ収集や除排雪が挙げられます。高齢者、障がい者福祉や生活保護におよそ4分の1、学校や消防、ごみ処理経費などにもおよそ4分の1程度お金がかかっていることもご理解いただければと思います。

こうした情報を市民の皆さまと共有し、手を携え、共に恵庭のまちの将来像を描きながら、多くの希望や夢を実現していきたいと考えています。

できるだけわかりやすい資料にしたいという思いで作成した決算の概要です。

これからも市民の皆さまからのご意見やご指摘をいただきながら、より理解の深まる資料を作成していきたいと考えています。